■教育学科（中等教育専攻　英語科コース）カリキュラムマップ

教育学科ディプロマポリシー（学位授与方針）

教育学科では、以下のような能力を身に付け、かつ所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

（１）確実な知識・理解・技能を有し、広い視野を持ち高度な専門性を備え、実践的な指導力を身に付けた学生

①　乳幼児・児童・生徒理解：乳幼児・児童・生徒一人一人の発達の特性を理解し、適切に支援できる知識と能力を備えている。

②　確実な知識・理解・技能：教育学の基礎的な知識を有し、「考える楽しさ」「学ぶ喜び」を育てる専門職として、学んだ知識・技能を高め続けようとする研究心や意欲を備えている。

③　実践的な指導力：学んだ諸能力を保育・教育現場で効果的かつ柔軟に発揮できる実践的な指導力を備えている。

④　課題解決能力：教育活動などにおける課題を把握し、その課題解決に必要な情報の収集・分析・整理をし、その課題の解決ができる。

⑤　ICT 活用能力：情報コミュニケーション技術などを用い、情報収集・分析・プレゼンテーションを適切に行うことができる。

（２）教育に対する強い使命感と責任感をもち、豊かな人間性を備えた学生

①　教育に対する使命感と責任感、愛情：教育に対する強い使命感と責任感をもち、愛情を持って入場時・児童・生徒に接することができる。

②　健康な心身と豊かな人間性：心身の健康の大切さを理解し、豊かな人間性に基づいた教育活動を展開できる。

③　自らの実践に対する省察：自らの「学び」を土台として、自ら考えたことや実践したことについて省察し、新たな課題に立ち向かう柔軟さや粘り強さを備えている。

④　コミュニケーション能力、チームワーク：連携、協働の大切さを理解し、乳幼児・児童・生徒ならびに、地域住民や保護者、教職員と連携し、自分と異なる考えをもつ人とも互いに尊重しつつ、教育課題などにチームとして取り組むことができる。

⑤　道徳性と倫理観、社会性：倫理、道徳に関する知識と技能を踏まえ、自らの良心や社会の規範やルールに従って行動し、人々の幸せや地域・社会の発展のために貢献できる。

科目分類・科目名称		主　題	到達目標	ディプロマポリシーとの関係（◎特に重要　○重要　△望ましい）									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
専門基礎科目	教育学概論B	公教育の歴史と課題	1．公教育制度についての基本的原理を理解し説明できる。 2．日本の公教育制度についての知識を説明できる。 3．教育についての歴史的に論じることができる。 4．現代の教育問題についての関心をもち、問題解決のための意見を述べることができる。	○	△	△			○	○			△
	教育社会学概論B	教育を社会事象のひとつとして客観的に捉える。	教育を社会事象のひとつとして客観的に捉え、説明することができる。				△	△	○			△	○
	教育心理学概論B	「学び」の場の心理学・「学び」を促す心理学	1．「育ち」と「学び」との関係、「育ち」に応じた「学び」の必要性、「育ち」を促す「学び」について説明できる。 2．乳幼児期から青年期の各時期における発達の特徴と発達課題、さらには環境移行において生じる問題について説明することができる。 3．「学習」および「動機づけ」について学び、「学び」を促す環境や働きかけについて具体的に述べることができる。 4．学習者の主体的な「学び」について説明することができる。また、学習者の主体的な「学び」や学習者同士の学び合いを促す環境・働きかけについて具体的に述べることができる。 5．教育における学級集団作りの必要性、さらには、そこでの教師の役割や影響について説明することができる。 6．支援者・教師としての専門性の向上を図る上で重要となる態度や取り組みについて述べることができる。	△	△				○	○	△		△
	教職論B	学校において教師が行っている教育活動とその目的について学び、自分が目指す教師像について考える。	・教師は、学校職員の一員であり、服務に基づいて職務を遂行するということを理解できたか。 ・教員事故防止のためにはどのように行動	○	◎	○			△	○			○

専門基礎科目　続き			すべきかを理解できたか。 ・教育課程の基本を理解し、教育実習に臨む心構えができたか。 ・生徒指導・進路指導・安全教育・特別支援教育・人権教育等の現状と課題を理解できたか。 ・自分が目指す教師像についてしっかりと考えることができたか。										
	特別支援教育の基礎	特別支援教育の基本的な理念、障がい種に応じた指導内容・方法及び合理的配慮	1．特別支援教育の理念について説明することができる。 2．特別な支援を必要とする子ども一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うために、様々な障がいの状態について説明することができる。 3．合理的配慮、指導・支援の在り方によって、幼児児童生徒の活動や参加が可能となる（障がいの状態を軽くすることができる）ことについて事例をあげながら説明することができる。	○		○			△	○			△
	特別支援教育の理解B	通常の学級に在籍する障害のある幼児児童生徒への学習支援	知的障害及び発達障害のある子どもにおける認知機能の特徴を理解し、子どもの認知特性に配慮した合理的配慮の提供の仕方を理解することができる		○	◎		△		○		△	
	教育相談の理論と方法B	教育相談の理論と方法の理解	1．中学校、高等学校において求められる教育相談の理論について説明できる 2．教育相談の方法についてロールプレイングなどの中で活用できる	△		○		○	△	△		△	△
	道徳の指導法B	道徳教育の歴史と指導の理論と実践	1．道徳教育の歴史についての基本的知識について説明できる。 2．道徳の基本的指導法を身につけて実践できる。	△		○		○	△	△			◎
	特別活動の指導法B	・特別活動の意義と実践的な指導法。 ・豊かな人間形成を育む教育実践力を備えた教師をめざす。	・特別活動における望ましい集団活動が豊かな人間形成に重要な役割を果たしていることを理解する。 ・教育課程における特別活動の役割と意義を明らかにし、各活動の指導理念と実践的な指導方法を探る。	△	△	◎		△				△	
	生徒指導・進路指導論B	学校現場における生徒指導並びに進路指導についての理解を深め、実践力を身に付ける。	学校において、教師と児童・生徒の信頼関係および児童・生徒相互の望ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深め、児童・生徒が自主的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことが出来るようにするにはどのようなことが必要かを考察する。また、いくつかの事例を通して、学生の意見・見解を問うこととする。さらに、進路についての意義と進学・職業観の育成を図る。	○		◎	△		○	△		△	○
	総合的な学習の時間の指導法B	総合的な学習の時間の目標と内容を理解し、それを踏まえた具体的な指導法について実践力を身に付ける。	総合的な学習の時間の目標と内容を理解し、児童生徒が主体的の課題を捉え、効果的なプレゼンテーションなどが行えるようにするための、具体的な指導法の手立てなどを考え、実践することができる。		○	◎	○	○				△	
	教職実践演習	中・高等学校教員としての資質の確認を行い、教育現場での実践につなげることができるようにする。	これまでの教職に関する様々な学びが，教員としての資質能力として有機的に統合・形成され、実際の現場等で適用できる。	△	△	◎	◎	△	○	△	○	△	△
専門基幹	中等教育課程の意義と編成	学習指導要領に見る中学校・高等学校教育課程のポイントと今後の展望	1．教育課程の法制や歴史から教育活動におけるその意義を理解できる。 2．現行学習指導要領の特徴を踏まえ、各教科における指導の重点を理解できる。	○				△	△			○	△

科目C群			3．中学校・高等学校の学習指導要領のポイントを理解できる。 4．これからの学校教育の課題と展望についてしっかりと考えることができる。										
	英語学概論	英語学の基礎知識の修得	1．英語の歴史的変遷を知り、古い時代の英語の形態的特徴を現代英語のそれと比較することにより、国際共通語としての英語の実態を理解することができる。 2．英語の音声産出の仕組み、音素体系、音の単位、アクセントに関する知識を学び、英語の正しい発音を修得することができる。 3．英語の文法について、単語レベルの構造、文レベルの構造の知識を修得し、日本語との類似点・相違点を明らかにすることにより英文法への理解を深めることができる。		◎	△	○				○	△	
	教育英語学	英語学の発展的学習	1.英語学概論で学んだ英語の音声に関する知識を基に、英語の実際の仕様に見られる音韻的現象と日本語に見られるそれとの対照を通じて、英語の音声の仕組みを理解できる。 2.英語学概論で学んだ英語の文法に関する知識を基に、英語以外の言語、主に日本語との比較を通じて、英語の文法的(構造的)特徴を理解できる。		○	◎	○		△		○	○	
	英語音声学	アメリカ英語の音声修得	1．発音記号を読み書きできるようになる。 2．英語の音声と日本語の音声の違いを理解できるようになる。 3．アメリカ英語の音声を実際に発音できるようになる。		◎	○	○				○	○	
	英語統語論	英語の統語論に関して専門知識を習得し、分析・論証できるようにする。	1.生成文法の基本的な考え方とその概念を理解する。 2.生成文法の基本概念を用いて英語と日本語を分析することができる。 3.生成文法の理解が英語の深い理解と英語運用能力の向上に繋がることを実感できる。		◎	○	○				○	○	
	心理言語学	生成文法理論に基づいた母語獲得研究	1.生成文法理論における母語獲得モデルを理解できるようになる。 2.人間に生得的に備わっている言語知識の存在を裏付ける母語獲得研究を説明できるようになる。 3.英語と日本語に共通に見られる文構造の獲得過程を説明できるようになる。		◎		○				○	○	
	日英比較言語学	英語と日本語に見られる言語現象の比較分析	1.英語と日本語に共通に見られる言語現象の制約を理論的に説明することができる。 2.各言語現象に関わる言語知識を第一言語獲得研究の観点から説明することができる。 3．英語と日本語の比較を通して、言語間の普遍性と変異について説明できる。		◎		○				○	○	
	英語文学I・II	英語文学･文化の基本的知識の修得および文学作品に見られる多様な英語表現の理解	1．文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。 2．文学作品で描かれている，英語が使われている国や地域の文化について理解している。 3.英語で書かれた代表的な文学について理解している。		◎	△				○	○		

専門基幹科目C群　続き	英語文学講読I・II	英詩の基本的知識の修得およびその多様な英語表現の理解	1．英詩において使用されている様々な英語表現や技法について理解している。 2．英詩で描かれている，時代の背景や地域の文化について理解している。 3．英語で書かれた代表的な詩とその詩人について理解している。		◎	△				○	○		
	英語文学・文化I・II	英語文学･文化における文学と絵画の関係の基礎知識の修得および文学作品に見られる多様な英語表現の理解	1．英詩において使用されている様々な英語表現や技法について理解している。 2．文学作品および絵画で描かれている，時代の背景や地域の文化について理解している。 3．英語で書かれた代表的な文学作品と絵画の関りについて理解している。		◎	△				△	○		
	Academic Reading	英語の読解力の向上	1．多読を通して英語を速く読む能力と総合的な英語力を身につけている。 2．より難しい文章を精読するスキルを身につけている。 3．英語の語彙力を身につけている。 4．英文読解の過程、読むことによって言語能力を高める方法、生徒の英文読解力と英語力を向上させる方法などを理解している。 5．授業で学んだ学習方法を卒業まで継続して使用することができる。		◎	○	○				○		
	Academic Writing	英語のアカデミック･ライティングの修得	1．様々な種類の英文パラグラフを読み、論理的な文章構成を理解することができる。 2．文法的に正しく、分かりやすい英文を書くことができる。 3．論理的な文章構成を用いて、説得力のある英文パラグラフやエッセイを書くことができる。 4．書いた英文を修正し、より完成度の高い英文に仕上げることができる。		◎	○	○				○		
	Presentation Skills	英語プレゼンテーションに関する基本的な知識及び技術の修得	1．プレゼンテーションを通して，様々なトピックにおける自分の考えを他者に伝えることができる 2．効果的なプレゼンテーションの仕方を理解し，活用することができる		○		○	◎			○	◎	
	Speaking & Listening Skills	英語のリスニング力及びスピーキング力の向上	1．様々なジャンルや話題の英語を聞いて理解することができる。 2．様々なジャンルや話題について意見を交換しながら会話を続けることができる。		○		○				○	◎	
	異文化理解 I	異文化理解および異文化コミュニケーションの基本的な知識の修得と文化の多様性に関する体験的学修	1．世界の文化の多様性や異文化コミュニケーションの現状と課題を理解している。 2．多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解している。 3．英語が使われている国や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解している。	△	○	○				○	○	◎	○
	異文化理解 II	グローバル化と同時に多文化共生が進みつつある現代における異文化コミュニケーション力、伝達手段としての英語力を体験的、実践的に養う。	1．異なる文化や言語表現、多様な行動様式に関心を持って学び、健全な問題意識を持って、理解している。 2．他者の文化を認めながら、自分の文化・生活・行動・考えなどを英語を用いて発信し、柔軟に忍耐強くコミュニケーションをとることができる。	△	○	○				△	○	◎	
	語学・文化海外研修	自分の英語コミュニケーション力を客	1．海外での生活や学習経験を通して、自分	△	○	△	○	○		△	○	◎	○

専門基幹科目C群　続き		観的に認識し、向上を図ると同時に多様性や異文化への理解を深め、未知のことにも積極的に視野を広げていく。	の英語力を見極め､向上させる方策を見つける。 2．英語圏の国々の文化・歴史・社会を体験的に知ることにより､異文化理解のスキルを身につける。 3．中等教育専攻英語科コースの学生は教職に関わる研修が含まれるので自分なりの教育目標を見つける一つのきっかけとする。 4．事前研修では､研修を最大限に活用するため各自が目標を定め、英語の知識と技術を身につけ、研修に備える。 5．事後研修では、研修や体験を振り返り、発表やディスカッションを通して、実践的な英語力の習得および対象となる文化に対する知見・理解・寛容性を深める。										
	英語科教育法（概論）	中学校・高等学校における外国語（英語）の学習・指導に関する基礎知識及び外国語の教授・学習の基礎的理論である第二言語習得論の知識を身につける。	1．中学校及び高等学校における外国語（英語）に関する基礎的知識として、教育課程（カリキュラム）、学習指導要領及び教科用図書について理解している。 2．外国語の教授・学習の基礎的理論である第二言語習得理論を理解している。	○	◎	△			○				
	英語科教育法（指導法）	中学校及び高等学校学習指導要領の３つの資質・能力を理解し、それを踏まえた５つの領域の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙、表現、文法の指導について基本的な知識と技能を身につける。	1．３つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）を理解している。 2．５つの領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと［やり取り］」、「話すこと［発表］」、「書くこと」）の指導のための基礎知識を理解している。 3．音声、文字、語彙、表現、文法の指導についての知識を身につけている。	○	○	◎	○		○		○		
	英語科教育法（実践A, B）	中学校の英語科授業に必要な「授業づくり」と「学習評価」に関する資質と技能の養成を目指す。	1．学習到達目標に基づく授業の組み立てについて理解している。 2．学習指導案の作成について理解し、授業指導に生かすことができる。 3．観点別学習状況の評価と評価基準の設定と評定への総括について理解している。 4．言語能力の測定と評価について理解し、指導に生かすことができる。	○	○	◎	○		○				○
	第二言語習得論	外国語習得の基礎的理論である第二言語習得論の知識と、それを英語教育に活用する技能を身につける。	1．第二言語習得の代表的な理論・モデルについての知識を身につけている。 2．第二言語習得理論・モデルの英語教育への応用に関する知識を身につけている。 3．第二言語習得の知識を効果的な英語教育に活用する技能を身につけている。	○	◎	○	○				○		
	児童英語教育	小学校における英語教育実践のための基礎知識および英語力の向上	1．小学校学習指導要領の概要や第二言語習得に基本的な事柄を説明できる。 2．英語に関する基本的知識（音声・語彙・文法・正書法）および異文化理解について説明できる。 3．小学校英語授業実践に活用できる基本的な教材や活動（歌・チャンツ・絵本・ゲーム）を選択できる。 4．基本的な英語を使って授業中の指示を出すことができる。	◎	○	○			△			△	